

製品安全データシート(SDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名 : PC-4N
会社名 : 株式会社クォーツテクニカ
住所 : 兵庫県灘区船寺通1-7-12
担当部門 : 技術開発部
電話 : 078-200-4508
FAX : 078-200-4509
緊急連絡先 : 078-200-4508
作成日 : 2012年9月26日
改訂日 : 2016年5月12日

2. 危険有害性の要約

[最重要危険有害性及び影響]

物理的及び化学的危険性

特定の条件下(乾燥後の残渣を加熱溶解した場合)で、パラフィンワックスヒューム(蒸気が凝縮した微粒物質は、ACGHI(米国産業衛生専門家会議)による許容濃度が勧告されている。

有害性 : 知見なし
環境影響 : 河川及び下水等へ流さない
特定の危険有害性 : 知見なし
化学物質等の分類(分類基準は日本形式) : 非引火性液体

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 特殊変性シリコーン

化学物質名	含有量(%)	化審法	安衛法 通知物質	CAS番号	PRTR法
シリコーン混和物(乳化物)	90~95	非公開	非該当	非公開	非該当
シリコーンレジン	3~5	(8)	414	非公開	非該当
シリコーン系界面活性剤	<0.1	非公開	非該当	非公開	非該当

4. 応急処置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移し、安静にさせる。
嘔吐が自然に生じたときは、気道への吸入がおきないように体を傾斜させる。水でうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、大量の水及び石鹼で付着部分を十分に洗い流す。刺激が続く場合には医師の手当を受ける。
目に入った場合 : 目と接触した場合には直ちに、多量の水で洗い、刺激が続く場合には医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。
嘔吐が自然に生じたときは、気道への吸入がおきないように体を傾斜させる。被災者が意識のある場合、水で口の中を洗浄する。
応急処置をする者の保護 : 救助者が有害物質に触れないよう、適切な保護具(暴露防止及び保護措置の項参照)を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴射、泡、ドライケミカル、炭酸ガス
使ってはならない消火剤 : 消火に棒状水を用いてはならない。火災範囲を拡大させる恐れがある。
特定の消火方法 : 水を含有しているので通常の取り扱いでは燃えない。しかし、乾燥した残渣(ワックス)は燃焼する。燃焼した場合の消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 通常の工業製品の取扱の注意を守る。
環境に対する注意事項 : 漏出物が河川、公共水路に流れ込むのを防止する。
除去方法 : 回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。少量の場合は土、砂、ウエス等に吸着させて空容器に回収する。多量に回収する場合にはポンプ等を用いて、空容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

[取扱い]

技術的対策 : 漏れ、溢れ、飛散させない。眼及び皮膚との接触を避ける。取扱時に飲食をしない。使用前に十分に攪拌する。製品がこぼれた場合、滑りやすくなるので注意する。

注意事項 : 特になし。

[保管]

技術的対策 : 火気、熱源より遠ざける。氷点以下の保管は避ける。一度氷結すると使用不可になる。

保管条件 : 密閉容器で保管し、換気の良い冷暗所に保管する。直射日光を避け、5℃以上30℃以下の冷暗所にて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

[暴露軽減設備対策]

取扱いについては、通常の工業製品の取扱注意を守る。

[保護具]

呼吸器用保護具 : 特になし。

手の保護具 : 保護手袋(耐油性ゴム製)

目の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 特になし。

[適切な衛生対策]

- ・保護具は清潔な一定の場所に保管し、有効期限が切れたものは使用しない。
- ・取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

[許容濃度]

日本産業衛生学会(1998年版)未設定

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 乳白色
臭気 : 香付き
pH : 7.0
沸点 : 約100℃
融点 : 乾燥させた残渣(固形)の融点84℃
比重(密度) : 0.99-1.0
溶解度 : 水に対して任意の濃度に希釈可能
引火点 : 非該当
発火点 : 非該当
爆発限界 : 非該当

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱条件においては安定。

反応性 : 知見無し。

避けるべき条件 : 加熱、高温、氷点以下

危険有害な分解生成物 : 二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし。

局所効果 : 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。

発がん性 : 知見なし。

12. 環境影響情報

[残留性・分解性]

シリコーン分の生分解性はない。現時点では、水処理施設への影響は認められていない。
シリコーン分は活性汚泥への吸着によって処理される。

13. 廃棄上の注意

[残余廃棄物]

残余廃棄物は、焼却処理することとし、化学物質の焼却処理のできる専門業者に処理依頼するか、自社で焼却する場合には廃棄物処理関係法令及び条例に従って処理する。焼却により、二酸化ケイ素微粉末が生成するので、適切な電気集塵装置等が設置された焼却設備で焼却する。また、防塵マスク等の保護具を着用する。

[汚染容器・包装]

空容器や包装材料を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。自社で廃棄処理する場合は、廃棄物処理関係法令及び条例に従って処理する。

14. 輸送上の注意

[国際規制]

IMDG(国際海上危険物規制)コード

評価 : 非該当

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)、IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規制)

評価 : 非該当

[国内規制]

陸上輸送

消防法 : 非該当

危険等級 : 非該当

[輸送の特定の安全対策及び条件]

直射日光を避け、5℃～30℃の温度範囲で輸送する。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

化審法	: 既存化学物質名簿へ収載
労働安全衛生法	: 通知対象物(固形パラフィン)
水質汚濁防止法	: 水素イオン濃度等の項目
海洋汚染防止法	: 油排出規制(原則禁止)
下水道法	: 鉱油類排出規制(5mg/許容濃度)

16. その他の情報

- 1) 記載内容は、現時点で入手しえる資料、情報、データに基づいて作成した通常取扱を前提とした危険有害性データで、将来改正されたり、変更されることがあります。ご使用になれる各位は、自らの責任に於いて個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さい。物性値等の値は測定値の一例であり、規格値、保証値ではありません。
- 2) 本製品は輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、輸出される場合には経済産業省のガイドラインの参照や同省への事前相談が望ましい。